



進みゆく

第11号

文責 校長 小松原 弘之



“三寒四温”

梅や水仙の花が見ごろを迎え、雪が舞う時期にも花を咲かせる植物にたくましさを感じます。この時季、寒い日と暖かい日が繰り返します。そうして、冬から春へと移り変わるのですが、今年の寒暖の差はあまりにも大きく、Tシャツ1枚で過ごしたと思えば、ダウンを着込んだり様々です。今年は、暖冬で積雪量が少なく、生活するには比較的楽なのですが、自然界の災害や夏の水不足につながらないかと心配です。桜の開花時期もかなり早くなると予想されています。体調管理に努めながら、三寒四温を楽しみたいと思います。

“体験から学ぶもの⑥” (体・心・仲間・頭が元気)

2月16日(金)、今年度最後の授業公開日がありました。1年間のもちめとして、できるようになったこと・学んだこと発表をしました。授業後には、学級懇談、親子活動がありました。親子活動での一コマです。マットひっくり返しリレーが始まった時です。子どもたち、保護者全員の表情が真剣そのもの。いわゆる“本気笑顔!”、勝負事であったことは事実ですが、参加者の“心・体が汗をかいた”状態となりました。2回戦の末、2回とも青組の勝利でおわったのですが、熱戦となりました。中には、親子で作戦を確認したり、お互いに気遣ったり、ベストを尽くそうと必死になったり、喜びや悔しさを共有したり、成し遂げたことやできなかったことを分かち合ったり、相談し協力し結果を受け止める、一連の流れを共有できたりしたこと、とても有意義な場となりました。私も2回戦で参加させてもらいましたが、思わず本気で、マットのひっくり返す方向をペアで確認しました…。

この“体験と感情を共有する”と言うこと、“自尊感情”を育むのにとても大切なこととされています。共有体験を通して、“基本的自尊感情”が育つからです。ほめられたり認められたりして育つ“社会的自尊感情”は、負けたり失敗した途端にしぼんでしまいますが、“基本的自尊感情”が十分育っていれば、一時的に元気をなくしたとしても、立ち直るまで心を支えてくれるそうです。親子で共通の体験をして、感情の共有をすること、これからも大切にしていだけたらと思います。



“跳んで跳んで、また跳んで” (なわとび集会 体・心が元気)

2月21日3校時、体育館でなわとび集会を開きました。プログラムは、持久とびに挑戦、長縄とびに挑戦、技発表会、練習タイムでした。業間休みから体育館には、縄を跳ぶ音が響いていました。

最初は、持久とびに取り組みました。1・2年生は1分間、3～6年生は2分間、色別対抗で競いました。必死にがんばる子、それを応援する子、緊張の中、力を出し切る姿はとてまかっこよかったです。



次は、長縄とびの8の字とび（2分間）に挑戦しました。これはこれまで業間休みに練習をしてきました。失敗を責めず、さりげなく受け止める姿はさすが大野っ子と感じました。最後まで集中を切ることなく、挑戦し続けました。



その次は、できる技発表会でした。後ろ跳び・ケンパ跳び・あや跳

び・交差とび・サイドクロス・交差とび・二重とび・二重あや跳び・二重交差跳び・サイドクロス二重跳び・三重跳びと順に発表していきました。



最後に、練習タイムです。聞いたり伝授したり、自然と教え合うことができるのが、大野っ子です。発表会を見て、まっしぐらに教えてもらおうと動く子もいました。いずれも素敵な姿です。ご家庭でも、ぜひ一緒に挑戦してみてください。



“よいよい学校をめざして” (第3回学校運営会議)

今年度第3回となる今回は、授業をご覧いただき、授業の感想等に併せて評価と来年度の方向性について協議しました。子どもたちが堂々と発表しているところ、その子なりに成長がみられているところに評価をいただきました。

協議では、複式教育のメリットを生かすこと、スクールカウンセラーの実績、タブレットPCを用いた学習等について、話題となりました。貴重なご意見をいただく場として、有り難いばかりです。外部の方のご意見、刺激となります。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



“湖北っ子的ために何かできるか” (学園教育推進会議 地域が元気)



2月20日、今年度第3回の学園教育推進会議が湖北中を会場に行われました。今回は1年間のふりかえりをはじめ、第2回の中学生とのミーティングを踏まえて、「大人が子どもたちのためにできること・できそうなことは何か」を探ることをメインとしました。

大野グループでは、一つ目の話題は、「『津ノ森駅のライトアップがいい。』と聞いたので、さっそく年末のところで公民館のフェンスをイルミネーション風に見てみた。」ということでした。中学生の発言からの行動力に脱帽でした。来年度は、予算化するか検討中とのことでした。2つ目の話題は、知り合いの多い町なので、気軽に声をかけ合いあいさつを交わせる、安心して過ごせる町にしたいということでした。とかく個人主義の好まれる風潮ですが、それを逆手にとる発想です。とことん田舎イズムを発揮したいところです。3つ目の話題は、ふるさと学習のことでした。小学生は体験が主になる面が多いが、児童と大人と一緒に考えたり自主性や本気度に重きをおく活動も設けたいという意見でした。学校側も地域側もジュニアリーダー研修のお話を聞きながら、我々の活動を反省しました。

他地区からは、「中学生のジュニアリーダー研修参加は一つのステータスとなっており、中学生のニーズ（OBとしての活動）を把握し、高校生年代の受け皿（ヤングボランティアバンク）をつくる」、「3地区ジュニアリーダー研修を支えた大人の交流会開催」、「ジュニアリーダー研修実習等の行事について、人が集まるような支援」、「将来でもふるさと湖北に戻るきっかけとなる人間関係づくり」、「湖北も多人数とは言えないので、大規模校との交流会」など、限られた時間ではありましたが、貴重な意見が出されました。実現の際には、ぜひご協力をよろしく願います。来年度の活動が楽しみです。

“学校生活をよりよく！” (大野っ子タイム[児童総会] 仲間が元気)

特別活動（学級活動・児童会活動・学校行事）は、指導の入るレベルはいろいろですが、自分たちの生活をよりよくするために、自分たちの自分たちによる自分たちのために、みんなが活動するものです。1年生の頃から学級で経験し、委員会に入る学年で児童会へとデビューしていきます。大人の社会で言えば、自治会・公民館的な組織に当たり、自治能力を高めていく場所です。その基盤となるのが、小学校で言えば、この特別活動です。今、世界から注目されつつある学習で、“Tokkatu”と訳されることもあります。

2月22日は、児童会活動の総会“大野っ子タイム”を行いました。1年間のふり振り返りとともに、来年度への引継ぎ内容も確認されました。自分たちの生活をよりよくするため、今日も活発な意見が出されました。いいぞ、大野っ子！



3 学期後半の主な行事

<2月>

- 20日（火）きらきら生活週間（～26日）
湖北白鳥学園教育推進会議（湖北中）
- 21日（水）なわとび集会
- 22日（木）大野っ子タイム、ストーリーテリング
- 23日（金）一天皇誕生日ー
- 29日（木）6年生を送る会



<3月>

- 1日（金）留守番対応電話利用スタート
- 5日（火）PTA新旧役員引継ぎ会
- 6日（水）令和6年度委員会活動
芝生管理委員会
- 8日（金）体育館ワックスかけ
- 13日（水）卒業式予行練習
- 14日（木）給食最終（6年）
- 15日（金）卒業証書授与式
- 20日（水）ー春分の日ー
- 21日（木）給食最終（1～5年）
- 22日（金）修了式・離任式



<新年度4月>

- 3/23(土)～4/7(日) 春休み
- 4/ 8(月) 始業式・着任式 4/ 9(火) 入学式

□3/1留守番対応電話の利用をスタート

2/13電話器の契約更新に合わせて、留守番対応電話が設置されました。1/16PTA企画運営委員会では、全小学校の更新（令和6年度完了 随時切替）に合わせて実施すると伝えておりましたが、今年度からスタートすることとなりました。

そこで、本校では月替わりの3月1日（金）より留守番対応機能（音声ガイダンス対応・録音機能なし）を利用することとします。学校に電話のつながる時間が限られますが、連絡すべき事項があれば、学校から電話連絡をしますのでご安心ください。

詳細は、2月16日付文書「留守番対応電話の導入について」をご覧ください。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、新電話機の機能として、電話がつながった時には、「この電話は、品質向上のため録音されています。」というメッセージが流れます。これについてもご承知おきください。

□学校のホームページ

今年度末（3月下旬）、松江市の学校ネットワーク移行のため、学校のホームページが新しくなります。それに伴って、馴染んでいたいた現在のホームページですが、閲覧することができなくなります。予め、お知らせしますので、ご承知おきください。

“耳をすまして…”（ストーリーテリング 心・頭が元気）

学期に一度、図書ボランティアグループ“お話ブリュッケン”さんにお話を聴かせていただいています。ストーリーテリングというのは、「語り手の方が、本や小道具を使わず、言葉を通してお話を聴くもの」です。語り手の方は、子どもたちの表情を見ながら目でお話を語られます。今学期も、2月22日（木）にお越しいただき、図書館で2校時に1・2年生、3校時に3・4年生、4校時に5・6年生が味わいました。毎回、すてきなお話や考えさせられるお話を聴かせていただいています。



“白鳥”（アンデルセン作）6年生

ろうソクの火が灯るとお話が始まり、終わると消す儀式があります。

今回は、左から山根さん、渡辺さん、浅見さん、宇田さん、岩田さん、5名の方にお世話になりました。